



古材で製作したPP250 ヴァレットチェア

PPモブラー社は巨大なmose eg (eg :オーク材)を見つけ、4本のPP250 Valet Chairを製作しました。

Mose とは、泥炭湿原に数百年から数千年間沈み、化石化した木材を意味します。今回使用したオーク古材は数千年前から湿原に埋まっていたものとみられます。湿原の様々な成分と木材に含まれるタンニンが混ざり合い、湿原の中で腐敗することなく保存され、長い年月をかけて独特のダークな色に変色していきます。通常このような状態で見つかる古材は非常に小さく、アクセサリーや小物に生まれ変わりますが、今回の古材は家具を作る程大きく貴重なものです。数千年間地下に埋まっていた古材は、4本のPP250 Valet Chairに生まれ変わり、新しい姿で再びこの世に誕生しました。



製作された4台のうち、3台は既にデンマークの個人邸へ販売しています。残りの1台は非常にダークな古材(オーク材)に、背もたれの2本のラインはアッシュ材を使用しています。半化石化したオーク材を使ったこのValet Chairは非常に重量があり、数千年の時を経た、まさに世界に1点しかないマスターピースです。

デザイン: Hans J. Wegner ハンス・J・ウェグナー

販売価格: 3,630,000円(税込) 1点のみ

※座面を開けると小物入れになります

